

平成 28 年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名 呉市

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 呉市の生徒の課題である「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、豊かな語彙を身に付けさせる工夫がある。</li> <li>○ 「読むこと」について、読解を進めるヒントやポイントなどの課題解決の支援が示され、他の教材・教科や生活に生かせるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」について、学習の見通しをもたせるための学習の流れや支援となるワークシート、資料等の工夫がある。</li> <li>○ 本文と図表の関連を考えさせるだけでなく、図表の効果や取り入れ方を考えさせる工夫がある。</li> </ul>
書 写	東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正しい姿勢、執筆法、用具の扱い方等について、自分自身で姿勢を確認することを促す工夫がある。</li> <li>○ 生活の場面の目的に合わせて、適切な書体を考えさせるような教材が示されている。</li> <li>○ 行書の入門期において、筆の動きや形の特徴を考えさせたり、手本の紙面にポイントを意識させたりするような工夫がある。</li> <li>○ 楷書・行書の学習において、点画の部分的な写真やイラスト、解説があり、筆使いのポイントが分かりやすく示されている。</li> </ul>
社 会 (地理的分野)	東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料やグラフの読み取り方や調査活動の仕方、コンピュータ等の活用について、学習の基盤となる知識・技能等を身に付けさせる工夫がある。</li> <li>○ 大単元の導入において、生徒の興味・関心を高める工夫がある。また、広島県に関わる資料が充実している。</li> <li>○ 調査テーマを決めるための準備を大切にした手順や方法があり、見通しをもって問題解決的な学習を進めることができるような工夫がある。</li> <li>○ 作業的・体験的な学習活動例が多数掲載されるなど、生徒が意欲的に学習に取り組むための工夫がある。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
社 会 (歴史的分野)	育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化遺産を紹介するコーナーが充実するなど、我が国の国土や歴史に対する理解や愛情を深める工夫がある。</li> <li>○ 日本と世界の主な関連を説明したコーナーが設けられるなど、我が国の歴史と世界の歴史を結び付けて考えるための工夫がある。</li> <li>○ 歴史上の人物をイラストで時代順に並べたり、時代毎の生活や人々の暮らしぶりを学習するための主題を決め、その移り変わりで時代の特徴をつかんだりすることができるコーナーを設けるなど、歴史の大きな流れを見通すための工夫がある。</li> <li>○ 補充的・発展的な教材が時代区分ごとにバランスよく掲載されている。また、具体例も多く掲載されており、生徒の実態に合わせて選択しやすくなっている。</li> </ul>
社 会 (公民的分野)	育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「対立と合意」「効率と公正」についての理解を促すページが設けられるなど、現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための工夫がある。</li> <li>○ 文化交流、国際貢献に関する理解を深めるためのコラム等が豊富に掲載されている。</li> <li>○ 作業的・体験的な学習活動例が多数掲載されるなど、生徒が意欲的に学習に取り組むための工夫がある。</li> <li>○ 多数の補充的・発展的な教材がどの大項目にもバランスよく配置されており、生徒の実態に合わせて選択しやすくなっている。</li> </ul>
地 図	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図帳の使い方が具体例をあげて示されるなど、地図の見方を理解しやすくするための工夫がある。</li> <li>○ 「やってみよう」や「地図を見る目」のコーナーが設けられ、生徒の興味・関心を高める工夫がある。</li> <li>○ 地図を活用した調べ方の具体が、分かりやすく示されている。</li> </ul>
数 学	学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 呉市の生徒の課題である既習事項を活用する内容において、各学年にバランス良く活用する機会が設定しており、様々な単元で活用できる。</li> <li>○ 日常生活や社会における事象とのかかわりを扱っている題材の数や、説明させたり話し合わせたりする問題の数が多く、数学的活動に取り組みやすい工夫がある。</li> <li>○ 各学年の特設ページや例題等の側にノートに記載する際の留意点が示され、自分の考えをまとめて記述する活動への工夫がある。また、レポート作成においても例が示され、作成における留意点等がまとめられているなど言語活動の充実に向けた工夫がある。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
理 科	東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の各章の初めに「before &amp; after」のコーナーを設け、その章で最も重要な問いかけが示されている。また、生徒が、章末にその問いかけを振り返ることができるような工夫がある。</li> <li>○ 観察、実験の手順において、タイトルに加え具体的な目的が示されているため、目的を明確にして調べることができる。</li> <li>○ 探究する能力の基礎を育成する学習では、仮説を立てることで、目的意識をもって取り組むことができる。また、結果と考察の過程を分けることで、事実と考えたことを分けて学習させることができる。</li> <li>○ 考察において、視点が具体的に示され、生徒の考察を促す工夫がある。</li> </ul>
音 楽 (一般)	教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝統的な歌唱の扱いについて、全学年を通して「声や音楽の特徴を感じ取って歌おう（唄おう）（謡おう）」という題材名で系統的に扱われており、歌う部分のみの絵譜を掲載するなど、節回しの特徴を捉えて表現するための工夫がある。</li> <li>○ 「音楽学習 MAP」で、題材につながりがあるものを線で結び、関連付けて示されているので、それぞれの教材で何を学習するのかということやそのつながりを生徒が意識しやすい。</li> <li>○ 鑑賞教材の楽譜について、色付きの帯を付けたり、音符の色や大きさを変えたりして、生徒に着目させたい部分を分かりやすく掲載する工夫がある。</li> </ul>
音 楽 (器楽合奏)	教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 扱われている楽器について、専門家の演奏写真と「楽器の音色を聴いてみよう」や「楽器を知ろう」のコーナーがあり、基本的奏法等について写真や絵、説明により分かりやすく掲載されている。</li> <li>○ 「ここが分かれば Grade up!」等があり、アーティキュレーションの工夫、パートの役割、曲の構成に着目させ、ステップアップさせながら表現の工夫が進むようになっている。</li> <li>○ 「アンサンブル」では、掲載曲全てに、各楽曲にふさわしい演奏をするためには、どのように考えて何を工夫すべきかのヒントが示されており、生徒に表現意図をもたせるための工夫がある。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
美術	光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水彩等の用具の扱い方や筆使いの技法，遠近感の表し方等について詳しく解説されており，基礎的な技法や知識の習得に有効に活用できる。</li> <li>○ 生徒の表現過程での発想や構想を促す作品例や表現方法のヒントとなる記述を掲載する等の工夫がある。</li> <li>○ 鑑賞題材の作品全体と原寸大の一部分，作品の技法，材料の使い方や装飾の工夫等の解説が詳しく示されている。また，日本や西洋の絵画，工芸品，古代の土器等がバランスよく掲載されており，鑑賞の活動に有効に活用できる。</li> </ul>
保健体育	東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本用語が各小単元の始めに「キーワード」として示され，巻末で全てのキーワードが解説されている。各章末の「学習を振り返ろう」では，理解度について自己評価をするようになっており，学習内容について再認識することができる。</li> <li>○ 実習資料として，実習に関連した写真，挿絵，図が掲載され，手順や方法が説明されており，具体的な事例が多く掲載されている。</li> <li>○ 巻頭に「保健体育の学習方法」として，事例を用いたディスカッション，ブレインストーミング，ロールプレイング等がイラストを交えて解説されている。「やってみよう」「考えてみよう」では，意見をまとめて発表したり，話し合ったりする活動が記載され，内容と関連した課題提示により，意見を引き出す工夫がある。</li> </ul>
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決的な学習の手順が，図と文章で詳しく説明されている。また，具体的に身の回りの事柄を例にあげ，具体的な学習が進められる工夫がある。</li> <li>○ 学習内容の理解を助けたり，深めたりすることができるように写真，イラストや図等が掲載されている。また，工具や道具の使用方法についても，押したり引いたり，回したりする方向へ矢印が記載されているなど，視覚的に理解しやすくするための工夫がある。</li> <li>○ 材料と加工に関する技術の評価・活用について，その考え方やワークシート例が掲載されている。また，その他の内容の評価・活用についても，材料と加工に関する技術の評価・活用の学習事項を振り返り，幅広く考えることができるようになっている。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「持続可能な社会をつくる」というテーマで、巻頭及び内容ごとに見開きページで、「身近な消費生活と環境」の内容については5ページにまとめて示され、環境に配慮した内容について考えられるような工夫がある。</li> <li>○ 実践的・体験的な学習において、幼児のおもちゃは、発達段階に応じて年齢別に紹介され、「弁当をつくろう」では、弁当作りの手順に沿った流れで示されるなどの工夫がある。</li> <li>○ 食事摂取基準の表には、栄養素に「ナトリウム（食塩相当量）」を含み、呉市の食育推進事業の「減塩」に目を向けさせることができる。</li> </ul>
英 語	三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国語活動と同様の活動が設定され、国名コードを探したり、アルファベットを並べ替えて単語を作ったりする活動など、書くことへスムーズに移行できるような工夫がある。</li> <li>○ 活動や課題と同じページに「Word Bank」や「Idea Box」があり、自己表現活動に役立つ単語や表現がまとめられており、生徒が自ら表現を選択して言語活動を行いやすい。</li> <li>○ 全学年とも「Project」で発信する活動が3回ずつ設定されている。各プロジェクトの内容は、既習の学習を活用して実施できるようになっている。</li> <li>○ 単元の構成が「聞く」→「話す」→「書く」→「読む」→「書く」または「話す」という流れになっており、既習事項の学習を生かしながら無理なく「読む」「書く」へとつなげられるような工夫がある。</li> </ul>